

特別インタビュー

ももいろクローバーと私

by DJ tonya_harding



【tonya_harding (トニーヤ・ハーディング)】

東京近郊のクラブにて精力的に活動するDJ。

2010年2月14日深夜、自宅から突如オンエアしたバレンタインDJライブUSTは、実に1200名が同時閲覧し、Ustreamの視聴ランキング世界6位まで登り詰めたという伝説を持つ。

アイドルと音楽と二郎をこよなく愛する30歳独身。昼の姿は会社員。推しは百田夏菜子。

【ももいろクローバー】

2008年5月に結成。スターダストプロモーションからの選抜者で結成されたアイドルユニット。

現在のメンバーは、高城れに(れに)、百田夏菜子(かなこお)、有安杏果(ももか)、早見あかり(あかり)、玉井詩織(しおりん)、佐々木彩夏(あーりん)の6人。リーダーは百田夏菜子。和装がモチーフの衣装に身を包み、アクロバティックなステージングを見せる。

2010年5月5日UNIVERSAL Jからの第1弾シングル「行くぜっ!怪盗少女」が発売され5月3日付オリコンシングルCDデイリーランキング1位を獲得した。



— まず、トニーヤさんのアイドル原体験っていつでした？

tonya_harding 最初の最初は小5の時に高橋由美子にハマってた。小5でファンクラブ入ったり、ライブ行ったりはしなかったな。情弱だったし、塾で忙しかったから。小学5年の時イメージビデオ買ったときは何故かすごく悪いことした気分になってたなあ。それが原体験だったと思う。

— 高橋由美子以降、アイドルに夢中になったりはしたんですか？例えばハロプロ全盛の頃は、高校・大学時代と被ってたと思うんですが。

tonya_harding 思春期に入って、アイドル好きなんてすごくバカにされるから、それが怖くてアイドルを見ることはなかった。でも好きなのはジュディマリのYUKIちゃんだったりZARDだったりビジュアル重視だったと思う。根っここのころでそういうのあった。でバンド始めて音楽いろいろ掘り始めると、アイドルとは益々逆方向、男臭い方向に行っちゃって。当時既にシーンが死んでる HR/HM から入って、プログレ好きになって、そこからハウスとかテクノとか聴き始めて。でも正直、社会人になるまで J-POP については軽んじてる部分があった。モーニング娘。がヒットしたときはアイドルが云々っていうよりは「この曲めっちゃめっちゃステイタス」とは思ってたけど、それでアイドルの楽曲を表立って評価するまではいかなかったな。20代

前半まで今よりもっと内向的だったから。一方DJなんぞやり始めて、ちょっと調子ノッてた時代でもあった。けどそれが最近跳ね返った。

— 跳ね返って、アイドルを見るようになったきっかけは何だったんですか？

tonya_harding 社会人になってから、自分でもクラブでイベントなんかやってたけど、なんとなく違うなって思い始めて、そういう遊び方とちょっと距離を取る、っていうかもっと軽く楽しめるスタンスにいるようになってたんだけど、そんな時期に後輩にハロコンに誘われたのがきっかけ。それが「革命元年」だったかな。去年くらいの話。すごい楽しくて、一気にハマり出した。ハロコンの後で -ute と Beryz 工房の顔と名前を2~3日で一致させたくらいハマり方。もともといるんな音楽が好きだから、アイドルの曲も抵抗なく面白いなと思ったし。特に -ute は4つ打ちで踊らせるタイプの曲が多かったから、その時から音楽もルックスも含めて -ute には相当夢中になったな。

— ハロプロ以外のアイドルも見に行っただけですか？

tonya_harding それでアイドルとかが勉強するモードに入って。AKB48 は一応行ってみたんだけど、AKB48 は生歌じゃなかったのが引かった。昔バンド一生懸命やって

た影響で、生歌じゃないと嫌だっという考えがどこかにあったから、ちょっとAKB48には向かなかつた。曲も演出もよかつたんだけどね。そういう理由で、最初の頃はとにかくハロプロに夢中だった。とくに℃-uteの(鈴木)愛理がね。超歌えててすごいわ。最近つくろの歌唱方法からちょっと抜けて、自分の歌い方身についてきたし。本当に歌が好きなんだよ。 (菅谷) 梨沙子はもうちよいと頑張れよって思う(笑)。

一人入ってアイドルの面白さを知ったのが、ハロプロだったということですね。で、ももいろクローバーとの出会いはいつでした？

tonya_harding ももいろパンチレコ発ツアーの最後あたり。一番最初に行ったときはたしか夏菜子はいなかった。渋谷のヤマダ電機で無銭で見れるからって、誘われて行ったのが最初。ももいろクローバーの名前はちょっと聞いたことある程度だったけど、日曜の夕方で暇だったからとか、そんな理由でなんとなく行ったなあ。夏でさ、ガラガラしてすごく暑い日だったんだよ。

—それからもももクロちゃんに傾いていったわけですよ。ももクロちゃんの最初の印象は？

tonya_harding やったな一、かわいいな—っていうのが最初の印象。やっつることはコミカルでおもしろかつたし、かわいいいせにかなりエグいこともやるからびっくりした。でも地下(アイドル)でもなくて、まづルックスのレベルが高くて、メジャー感はその頃から結構あった。

イベントのあと握手会がついて、最初は「俺はいいや」って見てただけだった。ハロプロの握手会で剥がされ慣れたから。でも渋谷ヤマダ電機で一緒に行った仲間が、握手めっちゃいいよって言ってて、半信半疑でCD買ったんだけど。握手会の最初はたしか(高城)れにちゃんで、すごい握力で握ってくれて「何このお店!!!」って。今まで通ってたお店と違うぞ!みたいな。℃-uteの握手会なんか、迷惑ヲタ二人に挟まれてさ、愛理と全く触れられずに剥がされたことあるから、そのギャップにびっくりした。



—お店のサービスが桁違いだった(笑)、と

tonya_harding そう。で、それから悩んだ。昔からのハロプロヲタの人たち見ると、細かいところまですごくよく見てて、その微妙な差に突っ込んだり夢中になつたりしてる感じがして。それは凄いな—と思ってた。でもももクロは大味だった。1か0かだからさ(笑) コンディションによって全然パフォーマンス違うみたいなの。ハロプロってあんまそういうのないじゃん。アベレージが高いいから、不調な時も観客からしたら全然凄いわけで。ももいろは逆にプレがあるんだけど、その分握手とかチエキ撮影みたいのに、すごくサービスいいのは過剰なくらいいいし、ヲタを楽しませる工夫もしてたし。で、そういうハロプロとの楽しみ方の違いに、なんとなく悩みながら現場に行つたなあ最初は。

—ハロプロにはなかつた別の面白さを見つけてしまったわけですね。それから、ももクロの現場に何度も足を運ぶようになったきっかけは？

tonya_harding ももクロの現場行って、知り合いがたくさんできたのが大きかつた。最初、見た目めちゃくちゃ怖そうなのもあって「俺この人達と仲良くなれんのかな—」と思って、少し引いて見てたんだけど、イベントのあとに飲み会に誘われてから、自分もいつの間にかレギュラー化して。みんなアツくてイイ奴で、現場でも飲み会でもバカやって。こたわりもあって、言いたいことは言うんだけど、場の空気は乱さなくて、みたいな。人間的に信用できる奴らだと思ふ。

—そんなんでできた友達で前橋のイベントに車で行ったのがすごく楽しかつた。前橋の旅館泊まってさ。大人になつてそんな友達でなかなかなできないじゃん。今でも覚えてるのが、帰りにみんな車で送っていったとき雨ザーザー降ってて、恵比寿で最後のヤツ降るしてから、俺車内で泣いちゃって。「こいつらマジで楽しいよ—」って。雨でガラスが曇ってるのが涙で視界がぼやけてんのかわかんない(笑) こまで夢中になつたきっかけで、結局そういう仲間の存在だと思ふ。

—ももクロちゃんのパフォーマンスについて聞きたいと思います。ももクロちゃんのライブを見ててももクロちゃんは最初のころからどんな風に変わつたと思いますか？

tonya_harding 最初は(早見)あかりも(百田)夏菜子もそんなにモチベーション高くないのになつて感じだった。でもライブ重ねる度に段々良くなつていって、「未来ヘスス」の頃は、あ、こいつら段々本気になつてきたな—って。とくに夏菜子のキャプテンシーがね、毎回上がつていく感じがした。

—成長を目の当たりにできる、というのもアイドルを見る醍醐味ですよな。トーニャさんにとって印象的なライブってありましたか？

tonya_harding 未来ヘススめの発売のとき、デイリーランキングの発表も感動したんだけど、そのあと秋葉原のベルサールでやったのがまたヤバかつた。ステージ設備は全然ショボかつたんだけど。ももクロちゃんたちもライブ続きでヘトヘトになつてさ、ライブ中に、しおりんがマイク落としたりだよ。で、マイクがそのままステージのままで転がっちゃって。ももクロちゃんも観客もスタッフも、場がフリーズしちゃっちゃん。でもその瞬間に夏菜子がバツとステージから飛び降りてさ、マイク捨てしおりんに渡したんだよ。それ見て俺号泣しちゃって。現場で俺だけ泣いたの初めてだった。夏菜子はね、誰もが止まっちゃう瞬間に動けるやつなんだよ。ヒーロー—っていうか、まさにヒロインだよあいつは。

—あと、去年の夏と冬に2回インフルエンザが流行って、ももクロちゃんもはたばた倒れてた時期があった。最初あかりが倒れて。で、イベントの前日あかりは出ないってアナウンスもあつたんだよ。6人ってひとり欠けるだけで

もかなり痛々しいんだよねーとか思って。で、観に行ったら当然ね、あかりが出てこなくてがっかりしてて。でも、ライブ中に words of the mind の 1 番と 2 番の間のラップのところで…あかりの声がしてさ…。ええ！？みたいな。で、いきなり会場の後ろのドアがパーンン！って開いて、休んでるはずのあかりが立ってて、ラップしてんの。もうね、本田がフリーキック入れたときみたいな。UDX 座ってなきゃいけないんだけど、会場総立ち！UDX ホントに揺れたもん。スタッフも注意しない（笑）あかりは、「皆は休んでていいって言ったけどドクターストップ解けたから来ました」って。感激きしたよ！会社に一人ほしいよホント！！

一めちゃめちゃ壮絶ですね…。

tonya_harding ひどかったのは 5 月 5 日の怪盗少女リリース前後だねー。ももクロちゃんがみんな本当にポロポロになって。連日連日現場だったから、ふらふらで UDX のステージに立ってた。欠席も目立ってきて全員本当に体調悪そうでさ。最初は俺行けなかったから、twitter でみんなの感想が超エグってるの見て「なんだよみんなー 大げさだよー」ぐらいに思ってたんだけど、実際現場行ったらももクロちゃんみんな顔真っ青で。もう本当にポロポロで。俺ステージ見れなくて。最前付近に居た、いつもは厳しい感じのヲタも、下向いちゃって涙ポロポロ落としてんだよ。正直、やめてあげろよって思った。会場設備もかなり悪かったんだけど。UDX に詰め込めるだけ詰め込んでたから。

一僕はそのあとの東武百貨店屋上とラクーアのイベントに行ったんですが、体調の悪さはあまり感じませんでした。野外で客罵りまくって、ノンストップで歌って踊りまくっててすごく盛り上がりすぎてましたよね。

tonya_harding そう、東武屋上とラクーアのイベントがね。5 月 8 日と 9 日。盛り上がりはハンパなかった。UDX であれだけ落としておいてそのパフォーマンスかよ！こいつらマジで底が知れねー！って思った。ラクーアイベントは特に凄くて、客が全員激踊ってたもんね！野外であれだけ盛り上げられる、あれがももクロちゃんの武器だと思う。あれだけパフォーマンスの能力が高くて、しかも外であんだけグダグダの MC する度胸もあるんだから（笑）もっともっといろんなことやって欲しいと思ってる。

一最後になんですけど、ももクロちゃんを見続けてきた中でご自身にもいろいろあったと思うんですけど、ももクロちゃんをはじめアイドルを見始めてから、自分自身は何か変わりましたか？

tonya_harding ももクロちゃんの頑張ってる姿見ててけっこう感化された部分は大きいと思う。「俺ってこんなに人生頑張ったことあったっけ」って。仕事もそうだけどさ、人間付き合いとか DJ とかも含めて正直ちょっと舐めてた部分あったけど、単純に、ももクロちゃん見て俺も頑張ろうって思ったよやっぱり。

まあ本当は、アイドル現場なんか行ってないで、空いた時間で自分磨いてイイ女見つけろって話しかけど。でもあんなイイ女っていないから！綺麗な上に頑張り屋さんって、いないじゃん。でも、そういうアイドル見て、かわいくなって思うだけじゃなくて、自分はどうかんだろうって思うのは大事なことだと思う。中学生かそこらでさ、体ポロポロになってまでステージに立ち続けて、なにがそこまでさせるんだろうって思う。で、自分もやっぱりそこまで何かやろうって思う。アイドル見てる人たちは、みんな多かれ少なかれ、そういう部分あるんだと思うよ。

一トニーさんの DJ スタイルのエモさはももクロちゃんの影響かもしれませんね。本日はお忙しい中ありがとうございました。

----- 終